

## 後置 3 格と前置詞句の交替可能性

時田 伊津子

### 1. 導入

3 格名詞句と 4 格名詞句を伴う二重目的語構文において、3 格名詞句は前置詞句に置き換えられることがある。

(1) a. Er hat ihr ein Buch geschickt.

b. Er hat ein Buch an sie geschickt. (Wegener 1985:227)

このような 3 格名詞句と前置詞句には統語的、意味的な相違があると多くの研究で言われている。例えば Wegener (1985) は統語的相違として基本語順、4 格との結びつきの強さ、一文に出現できる数、動詞の名詞化での実現の有無、任意性、bekommen 受動の可否などに言及している。また意味相違として有生性、意味役割 (の複合性)、直接関与の度合い、動詞の相などを挙げている。このような先行研究では主に 3 格 > 4 格の語順が基本となる構文の 3 格が対象となっている。

それでは 4 格 > 3 格の語順が基本となる構文において 3 格と前置詞句の間にはどのような関係が見られるだろうか。時田 (2007, 2017) でも言及したように、このような 3 格は構造的な特徴に基づき、3 格 > 4 格の語順の 3 格とは区別される (Wegener 1991, Zifonun et al. 1997, McFadden 2004 等も参照)。この 4 格 > 3 格の 3 格について、例えば Zifonun et al. (1997:1312f.) は複合動詞の接頭辞と前置詞の関連を指摘している (unter eine Sache ziehen → einer Sache unterziehen)。Meinunger (2006:93ff.) は zuführen と 3 格, führen と zu 前置詞句を例に挙げ、この 3 格は統語構造の中で前置詞句と同じ位置に現れると述べている。

同じ動詞のもとで実現する 3 格と前置詞句の関係についてはまだ議論の余地があるようだ。4 格 > 3 格の 3 格と前置詞句は交替可能な場合があり、例文 (2) では den Preisen と an die Preise が入れ替えられる。一方、例文 (3) では a 文の前置詞句と b 文の 3 格との交替は不可能であるが、指示対象の

異なる c 文は成立する。

(2) die Löhne den Preisen/an die Preise angleichen (Duden 2017:78)

(3) a. Fische in einem Teich aussetzen (Duden 2017:150)

b. \*Fische einem Teich aussetzen

c. Fische der Sonne aussetzen

例文 (2) や (3) のような表現から以下の問題提起ができる。4 格 > 3 格の 3 格はどのような場合に前置詞句と置き換え可能で、どのような場合不可能なのだろうか。交替不可能な際、3 格と前置詞句にはどのような意味的相違が観察され、背景にはどのような規則が関与しているのだろうか。また Meinunger (2006) 等で言及されているように 4 格 > 3 格の基本語順は分離動詞など複合動詞に多く見られるが、後置 3 格や前置詞句との関連はあるのだろうか。本稿ではコーパス事例を意味的に分析することで、これらの問いを明らかにすることを目的とする。

以下、第 2 節では分析対象とする事例について述べ、第 3 節ではコーパスから収集した事例を分析する。第 4 節では分析結果を考察し、その際は複合動詞としての特徴にも言及する。

本稿では便宜上、4 格 > 3 格の構文の 3 格、すなわち 4 格より後ろに置かれる 3 格を「後置 3 格」、3 格 > 4 格の構文の 3 格、すなわち 4 格より前に置かれる 3 格を「前置 3 格」と呼ぶ。

## 2. 分析事例

以下では、基本語順で後置 3 格を取る動詞を対象とし、後置 3 格および前置詞句の実例を分析することで上記の問題提起に取り組む。

対象とするのは、時田 (2007) と時田 (2017) の調査結果で後置 3 格と判断した動詞のうち計 10 の動詞とする：angleichen, annähern, anpassen, ausliefern, aussetzen, übergeben, überlassen, unterordnen, unterziehen, vorziehen である。これらの動詞が表す文意は大まかに 2 つのタイプに分類される。一方は aussetzen など、ある物を何かの影響下に置くという「影響」の関係を表す動詞である。もう一方は angleichen などある物を何かに対応させたり、vorziehen など優先や上下関係等を定めたりする「比較」の関係を表す動詞である。

事例はいずれも Institut für Deutsche Sprache の COSMAS II を用いて収集

した。主に Archiv der geschriebenen Sprache の alle öffentlichen Korpora des Archivs W (mit Neuakquisitionen) に収録されているテキストを対象とし、当該の事例の数が十分でない動詞については、他のアーカイブから事例を追加した。事例の検索に際しては上記の動詞を手がかりとし、収集対象は分離動詞の前綴りと基礎動詞部分が分離せずに現れる dass 文に限定した<sup>1)</sup>。収集した文のうち 4 格と共に 3 格もしくは前置詞句が実現する事例、約 2200 文を分析対象とする。

### 3. 事例分析

本節では、コーパスからの実例を用いて後置 3 格と前置詞句の交替の可能性を探り、またこの 2 項の意味的な類似点や相違点について述べる。分析にあたっては動詞別に事例を観察して、後置 3 格が前置詞句で書き換えできるか検討し、文意味や指示対象の有生性（生物、機関、無生物）、後置 3 格と前置詞句の指示対象の意味内容、前置詞句の実現の有無などにも言及する。

#### 3.1. 交替可能な事例

収集した事例を調査したところ、動詞 *angleichen*, *anpassen*, *vorziehen*, *annähern* の文は例文 (2) で挙げたような後置 3 格と前置詞句の交替が可能であると推測される。*angleichen* 「～を～に適合させる」の文では、例文 (4a) のように後置 3 格が比較の基準を表す。指示対象は生物や機関の場合もあるが、*Niveau*, *Verhältnisse*, *Standard* 等の無生物が多く見られる。また例文 (4b) のように *an* 前置詞句が比較の基準を表すこともできる。指示対象は無生物が優勢で後置 3 格と同様に比較の基準を表す *Niveau*, *Standard*, *Preis* などが複数回実現する。このような文では後置 3 格と前置詞句は置き換え可能と考えられる。なお冠詞を手がかりに定性を調査したところ、3 格は定が 96%、前置詞句は 88% を占め、二者の差異はさほど顕著ではなかった<sup>2)</sup>。

例文 (5) の *anpassen* 「～を～に合わせる」の場合も後置 3 格と *an* 前置詞句が実現可能であり、共にもっぱら比較の基準となる無生物を表す。3 格と前置詞句の指示対象には共通する語も多い。

(4) a. dass sie ihre Kontrollen nur dem Niveau in anderen Ländern *angleichen*

wollen, [...] (U11)<sup>3)</sup>

b. dass man die Löhne und Renten in Ostdeutschland 20 Jahre nach der Wiedervereinigung an das Westniveau angleichen sollte. (NKU09)

(5) a. dass die Tourismuszentren im Land ihre Angebote den Bedürfnissen aller Generationen anpassen müssten, [...] (NKU11)

b. dass jeder Kunde sein Auto an seine ganz persönlichen Bedürfnisse anpassen kann, [...] (E00)

vorziehen「～を～より優先する」の文では後置3格が無生物を指示する例文(6a)のような例が多い。gegenüberの前置詞句も用いられ、主な指示対象は無生物とし、比較の基準を示す点で後置3格と一致している。例文(6b)のように冠詞や形容詞など形態的な格表示がない場合、前置詞は4格と他の項を明確に区別する手段でもあったと考えられる。このように2項とも無冠詞の名詞の事例はgegenüber前置詞句の事例のうち約4分の1を占めた。後置3格と4格が無冠詞の事例は例文(6c)の1例のみであり、かつ同じ文中でChristina FäsiとWolfram Beringerのどちらが4格指示対象なのか誤解の生じないような説明がなされている。

(6) a. dass sie Mannheim als Ort für eine Adler-Spielstätte anderen Möglichkeiten vorziehen würde. (M99)

b. dass ein Individuum x gegenüber y vorzieht. (WPD11)

c. dass sie Christina Fäsi Wolfram Beringer vorziehe, weil die EVP-Kandidatin bürgerlich, eine Frau und mit 42 Jahren nicht zu alt sei (Wolfram Beringer ist 64jährig) . (A08)

annähern「～を～に近づける」の文の後置3格は例文(7a)のように主に無生物を表す。Position, Thema, Standard, Niveauなど比較の基準を表す抽象物が多くを占めるが、例文(7b)のように基準となる空間的位置を表す文も収集された。an前置詞句も同様に抽象物だけでなく具体的な位置も表す(例文(8))。これらの動詞では後置3格と前置詞句が交換可能と考えられる。

(7) a. dass Österreich sich steuerlich europäischen Standards annähert. (PRF10)

b. Erst kurz vor der Pause hatten die Koblenzer Fußballer ihre Schockstarre so weit überwunden, dass sie sich wieder dem gegnerischen Tor annäherten. (RHZ15)

- (8) a. dass sich die Türkei an europäische Standards annähern muss [...] (S16)  
 b. dass sich die Mauer beim Freistoß immer an den Schützen annäherte,  
 wenn der Referee gerade nicht hinsah. (NUZ14)

### 3.2. 一部交替可能な事例

次に、3格名詞句と前置詞句の指示対象で有生性が異なる場合がある。動詞 *ausliefern* 「～を～にゆだねる、引き渡す」の文では、例文 (9a) のような後置3格も例文 (9b) のような *an* 前置詞句も実現する。後置3格は無生物が半数近くにのぼり、さらに生物や機関のいずれも表すことができる。それに対し、*an* 前置詞句は主に機関、加えて生物を指示対象とし、無生物はほとんど見られない。機関のうち国名が半数近く、裁判所（特に Den Haag の裁判所<sup>4)</sup>）が2割弱を占めた。*an* 前置詞句は主に犯罪者などを国や裁判所に引き渡すという意味で用いられている。さらに共起する4格指示対象を見ると後置3格の文では再帰代名詞などの生物（例文 (9c)）の頻度が高いのに対し、*an* 前置詞句の文では他者を表す生物が多い。これらの傾向から後置3格の一部は前置詞と交替可能と判断される。例文 (9d) のように *an* 以外の前置詞 *nach* や *in* 等と国名や地名などが共起することもある<sup>5)</sup>。

- (9) a. so dass sie Reinhard Weimar nicht der Polizei ausliefern wollte. (M99)  
 b. dass die Bauern die Studenten an die Polizei auslieferten, als verdächtige Subjekte. (U12)  
 c. dass wir uns nicht einem Schicksal ausliefern, [...] (M07)  
 d. dass Libanon die vier Verdächtigen nach Den Haag ausliefern wird. (NZZ11)

*übergeben* 「～を～に任せる、手渡す」の場合も例文 (10a) のような後置3格、例文 (10b) のような *an* 前置詞句の文が観察される。後置3格は事例の半数以上で機関、さらに生物、無生物を表す。一方、*an* 前置詞句は生物と機関がおよそ5割ずつであり、無生物は表さない。4格指示対象も類似しており、後置3格が無生物である事例以外は交替可能と考えられる。なお前置詞 *in* と共に方向を表す前置詞句も4例収集された。指示対象は無生物と機関で、そのうち例文 (10c) の *Obhut* については後置3格でも共通して用いられている。他の *in* 前置詞句は (10d) に挙げる<sup>6)</sup>。こ

のように ausliefern と übergeben の事例では後置 3 格のうち生物や機関を表す語は前置詞句で書き換え可能と推測できる。一方、無生物を表す前置詞句の事例はわずかしか収集されず、後置 3 格が全般的に前置詞と書き換えられる訳ではないと考えられる。

- (10) a. dass der Autor und Sammler vor zwei Jahren seine Archive der Akademie übergeben hat. (NZZ07)  
b. dass es bei jedem Zahlungsverlauf Daten an drei Banken übergeben [...] müsste. (WPD11)  
c. dass 1905 der Denkmalausschuss durch Prof. Dr. Kohl den Maler-Müller-Gedenkstein in die Obhut der Stadt Bad Kreuznach übergab. (RHZ05)  
d. in jüngere Hände / in die Verantwortung der Vereinigten Staaten / in ein bosnisches Krankenhaus

### 3.3. 交替不可能な事例

一方、3 格名詞句と前置詞句の指示対象が明らかに異なる場合がある。動詞 aussetzen の文では例文 (11a)「危険にさらす」のように後置 3 格は Risiko, Gefahr, Sonne など 4 格に影響を与えうる抽象物を表す。前置詞句は具体的な場所を表し、例えば (11b) では「ネッカー川に置き去りにした」という意味を表している。また vorziehen では上述の例文 (6a) のような比較の表現が主な用法であるが、例文 (12) のように方向を表す前置詞句も見られる。後者は「(サッカーのフィールドの) 中盤に出させる」という具体的な空間についての記述である。このような文では後置 3 格と前置詞句の担う意味役割が異なり、交替は不可能である。

- (11) a. dass der Bundesrat die Bevölkerung nicht fahrlässig einem Risiko aussetzen würde. (A97)  
b. dass jemand einen Königspinguin aus Plüsch auf eine Styroporeisscholle montiert und auf dem Neckar ausgesetzt hatte. (M12)  
(12) dass der FC-Wil-Trainer nur zu gerne Dante Scherrer anstelle von Paradiso [...] ins Mittelfeld vorziehen möchte, [...] (A99)

### 3.4. 前置詞句が実現しない事例

さらに、後置3格とは共起するが、前置詞句の事例が収集されない動詞もある。überlassen, unterziehen, unterordnenがこれに該当する。überlassen「～を～にゆだねる」の文の後置3格は生物が優勢であるが、例文(13)のように無生物や機関も現れる。この動詞はan前置詞句や方向の前置詞句などと共起せず、後置3格と前置詞句との交替はないと考えられる<sup>7)</sup>。また、unterziehen「(4格)に(3格)を受けさせる」の文では例文(14)のように後置3格は無生物を表す。überlassenと同様、前置詞句と共起する文は確認されなかった。

(13) dass er die Menschen nicht ihrem Schicksal überlässt. (RHZ13)

(14) dass man alle Stellen einer gründlichen Prüfung unterziehen müsse. (BDZ13)

unterordnen「～を～に従属させる、～より下位に置く」と共起する後置3格は例文(15)のように主に無生物を表し、生物、機関を表すこともある。この動詞も収集事例の範囲では前置詞句とは共起していないが、本稿の分析対象外である受動文では前置詞句の事例が数例確認された<sup>8)</sup>。

(15) dass sie ihr Privatleben heute mehr denn je der Arbeit unterordnen müssen. (T02)

### 3.5. 分析のまとめ

分析の結果、angleichen, anpassen, vorziehen, annähernの文では後置3格と前置詞句の交替が可能であり、ausliefernとübergebenの文では部分的にのみ交替が可能と考えられる。aussetzenとvorziehenの文では前置詞句が具体的な空間を表す際に後置3格との交替はできない。またüberlassen, unterziehen, unterordnenの分析対象の文には前置詞句が実現していなかった。このように同じ後置3格でも前置詞句との交替については、動詞によってふるまいが異なることが明らかになった。

## 4. 考察

ここで後置3格と前置詞句の交替可能性にはどのような傾向が見られるか検討する。後置3格と前置詞句が置き換え可能であるのはangleichen, anpassen, annähern, vorziehenの文だが、これらの動詞はいずれも比較の関係を表している。angleichen, anpassen, annähernは4格を3格に合わ

せて対応させるという意味を表し (Wegener 1985:279, 時田 2017:194), annähern は 4 格を 3 格に近づけるという具体的な空間の関係も表現できる。vorziehen は 4 格を 3 格より優先するという意味である。比較の動詞は後置 3 格と前置詞句との交替可能性が高い傾向にあると言える。

一方、影響の動詞では前置詞句との交替は主流ではない。überlassen, unterziehen, unterordnen の文では前置詞句が実現せず, aussetzen の文では前置詞句が数例現れるが, 指示対象が空間を表すため後置 3 格とは意味役割が異なる。交替可能と思われるのは ausliefern と übergeben の文の前置詞句であるが, 指示対象が生物と機関, もしくは国名や地名等に限定されている。他は übergeben の in 前置詞句が数例みられた程度である。なお unterordnen は影響の関係を表すこともあるが, 4 格を 3 格より下位に置くという意味で比較を表す場合, vorziehen と同様の意味タイプとなる。

以上のように, 比較の関係を表す動詞のもとでは後置 3 格と前置詞句の交替が容易である一方, 影響の関係を表す動詞のもとでは交替の可能性があまり明確ではないという傾向が示された。

交替ができない前置詞句は具体的な空間を表すが, この前置詞句はどのような動詞のもとで実現しているのだろうか。

3.3 節で言及したように aussetzen と vorziehen の事例では後置 3 格が前置詞句と交替できなかった。他に前置詞句が空間表現である例を見ると, ausliefern の例文 (9c) などでは後置 3 格と交替可能であるが, 前置詞 nach, in と国名や地名などが方向を表現した。また annähern については例文 (7b), (8b) に挙げたように方向を表す前置詞句が後置 3 格と交替可能であった。annähern の後置 3 格は比較の基準と並んで空間的基準を表すためである。これらの 4 つの動詞に共通するのは動詞の基礎動詞にあたる単一動詞 setzen 「置く」, ziehen 「引く」, liefern 「配達する」, nähern 「近づける」が空間的な移動を表す点である。単一動詞の性質が複合動詞と前置詞句の構文にも引き継がれたと考えられる。

なお vorziehen と同じ基礎動詞部分をもつ unterziehen のには空間を表す前置詞句が実現していなかった。しかし, この非分離動詞と同形である分離動詞のコーパス事例を観察したところ, (本稿で対象とする dass 文ではないが) 方向の前置詞句と共起する事例が収集された<sup>9)</sup>。分離・非分離の前綴りをもつ複合動詞 unterziehen のうち, より具体的な意味に用いられ



る分離動詞は空間の前置詞と共起し、より抽象的な表現に用いられる非分離動詞は抽象的な表現を担う後置3格と共起している。

その他の *angleichen*, *anpassen*, *übergeben*, *überlassen*, *unterordnen* は空間の前置詞句と共起しない。これらの動詞の基礎動詞部分 *gleich*「似ている」、*passen*「合う」、*geben*「与える」、*lassen*「させる」、*ordnen*「並べる、整える」は、上述の動詞を異なり空間的な移動を基本的な意味として表してはいない。この点からも、後置3格を取る動詞が具体的、空間的な前置詞句を伴うことができるのは、基礎動詞の意味を引き継ぐ場合であると推測される。

## 5. 結語

以上、第1節で挙げた問題提起に対し、次のような結果が導かれた。後置3格について、前置詞句との交替は動詞の担う意味によるところが大きく、交替可能であるのは主に比較の関係を表す動詞の場合である。影響の関係を表す動詞の場合は、指示対象の有生性の制限などにより一部の例が書き換え可能であった。また、後置3格と交替できない前置詞句は具体的な空間を表し、後置3格を用いる構文と意味が異なること、具体的な空間を表す前置詞句は共起する動詞の基礎動詞部分の基本的意味が空間表現であることを述べた。後置3格と前置詞句の交替や、実現する前置詞句の種類は恣意的ではなく、動詞や複合動詞の基礎動詞部分の意味に関連すると考えられる。

本稿では他の項を含む構文としてのふるまい、あるいは統語的關係については分析を行わなかったが、この点については今後の課題としたい。

### 注

- 1) 以下の例文の提示では従属接続詞の *dass* 以前の部分は基本的に省略する。またその他の省略部分は [...] で示す。
- 2) 但し、共起する4格の傾向は異なり、3格の文では再帰代名詞が82%、an前置詞句の文では60%であった。
- 3) 事例の最後の記号は出典を表す。詳細は以下のURL等に記載がある。  
<http://www1.ids-mannheim.de/kl/projekte/korpora/archiv.html>
- 4) 例えば次のような語が現れた。Den Haager Kriegsverbrecher-Tribunal, Internationale Gericht (in Den Haag), Uno-Kriegsverbrechertribunal (in Den

Haag), UN-Tribunal in Den Haag など。

- 5) さらに前置 3 格の事例も数例見られる。前置 3 格は生物ないし機関を表している。
- 6) 前置 3 格の文も数多く収集された。ほぼ全ての事例で生物か機関を表す。
- 7) 前置 3 格の文も数多く収集され、もっぱら生物か機関に無生物（主に抽象物）を任せるという意味を表している。
- 8) 例えば次の例が挙げられる。  
dass diese Werte unter jüdische Werte untergeordnet werden [...] (P14)  
また、前置 3 格の文も収集された。後置 3 格と同様に無生物も表す点特徴的である。
- 9) 例えば次の例が挙げられる。  
Offensichtlich hatten sie unter eigene Kleidung Bekleidungsstücke des Kaufhauses untergezogen [...] (RHZ96)

#### 参考文献

- Cook, P. (2006) : The datives that aren't born equal. Beneficiaries and the dative passive.  
In: Hole, D. / Meinunger, A. / Abraham, W. (Eds.) : Datives and Other Cases.  
Amsterdam / Philadelphia: J. Benjamins Pub. pp.141-184.
- Duden (2017) : Das Stilwörterbuch. Duden.
- McFadden, T. (2004) : The position of morphological case in the derivation: a study on  
the syntax-morphology interface. Doctoral Dissertation, University of Pennsylvania,  
Philadelphia.
- Meinunger, A. (2006) : Remarks on the projection of dative arguments in German.  
In: Hole, D. / Meinunger, A. / Abraham, W. (Eds.) : Datives and Other Cases.  
Amsterdam / Philadelphia: J. Benjamins Pub. pp.79-101.
- Olsen, S. (1997) : Dativ bei Partikelverben. In: Dürscheid, C. (Hrsg.) : Sprache im  
Fokus: Festschrift für Heinz Vater zum 65. Geburtstag. Tübingen: Niemeyer.
- Wegener, H. (1985) : Der Dativ im heutigen Deutsch. Tübingen: G. Narr.
- Wegener, H. (1991) : Der Dativ - ein struktureller Kasus? In: Gisbert Fanselow / Sascha  
W. Felix (Hrsg.) : Strukturen und Merkmale syntaktischer Kategorien. Tübingen:  
Narr. S.70-103.
- Zifonun, G., Hoffmann, L. & Strecker, B. (1997) : Grammatik der deutschen Sprache.

Berlin [u.a.]: De Gruyter.

時田伊津子（2007）：無生物 3 格二重目的語構文—「生物 3 格」を含む二重目的語構文と比較しつつ—。（東京外国語大学大学院地域文化研究科 博士論文）

時田伊津子（2017）：比較を表す二重目的語構文。In: リュンコイス。第 50 号。桜門ドイツ文学会。